

症例経過から探る臨床の方向性

インプラントとどう向き合っていくか

日時 2012年2月11日(土・祝)

午前 9時 開場
午前 10時 開始 午後6時終了予定

会場 熊本市国際交流会館

6/7階大ホール

熊本市花畑町4-8 TEL096-359-2020

懇親会

ホテル日航熊本「天草」午後7時～午後9時(開場6時30分)

ご挨拶 前回の20周年記念発表会「経過観察と実態調査からのそれぞれの臨床」から早いもので10年が経ち、その間、私たちの歯科臨床も少しずつ変化してきました。とりわけインプラントに関しては、利用頻度も増えていくなか、臨床における位置づけやその応用について再考が必要な時期に来ているように思います。今回我々は、インプラントの臨床応用や術後経過について振り返り、毎回のケースプレゼンテーションで積み重ねてきた成果から、私たちがの向き合い方を見い出したいと思っています。皆様のご意見をいただき、この発表会を、我々の歩みのマイルストーンとして明らかにできればと考えています。

実行委員長：柘原秀紀

Program

1. インプラントを用いた症例の経過から学んだこと
2. 臨床における歯根膜の意義を見直す
3. 有効なインプラント使用法を模索する

会費	当日会費	前納	懇親会費
歯科医師	10,000円	8,000円	10,000円
スタッフ(歯科技工士・歯科衛生士)	3,500円	3,000円	10,000円
学生	2,000円	2,000円	10,000円

※会費振込先口座名 肥後銀行 水道町支店(普通) 2671017
KDM 30周年実行委員 会計 高木雅子 TEL.096-354-9418

※前納は2011年12月10日(土)までにFaxかKDMのホームページよりお申し込み下さい。

<http://kdm1982.jpn.org/event.html>

会費お振り込みを確認した上、申込完了とさせていただきます。必ず申込完了の返信メールをご確認下さい。

大会長：永田省藏 実行委員長：柘原秀紀 顧問：出口大平、東 克章、林 康博

実行委員：松田光正、富永祐司、高木公康、高木雅子、山口英司

市川康裕、河野生司、栗原健一、小林裕介、境 大助、坂口 賢、坂口倫章、鳥巢猶喜、中山正純、松原崇史、宮本徳郎、渡邊祐康

※ 今回の収益の全てを東日本大震災の復興のために役立てていただけるよう寄贈させていただきます。

キリトリ線

KDM 30周年記念講演会 参加申込書

医院名

お名前	歯科医師・スタッフ・学生	医院名	懇親会	出席・欠席
お名前	歯科医師・スタッフ・学生	医院名	懇親会	出席・欠席
お名前	歯科医師・スタッフ・学生	医院名	懇親会	出席・欠席
所在地(〒)				
TEL()	—	Fax()	—	

KDM
30
anniversary

FAX 0968 73 7227

担当：坂口 賢